

本資料は、当社の事業、業績等を説明する為の参考資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。
本資料の権利は当社に帰属します。無断複製を行わないようお願い致します。

第8期(2006年3月期)中間決算説明会

2005年11月11日

株式会社ビーマップ


HERCULES
ヘラクレス上場会社: 4316

ビーマップの事業領域

ビーマップの事業ドメインは

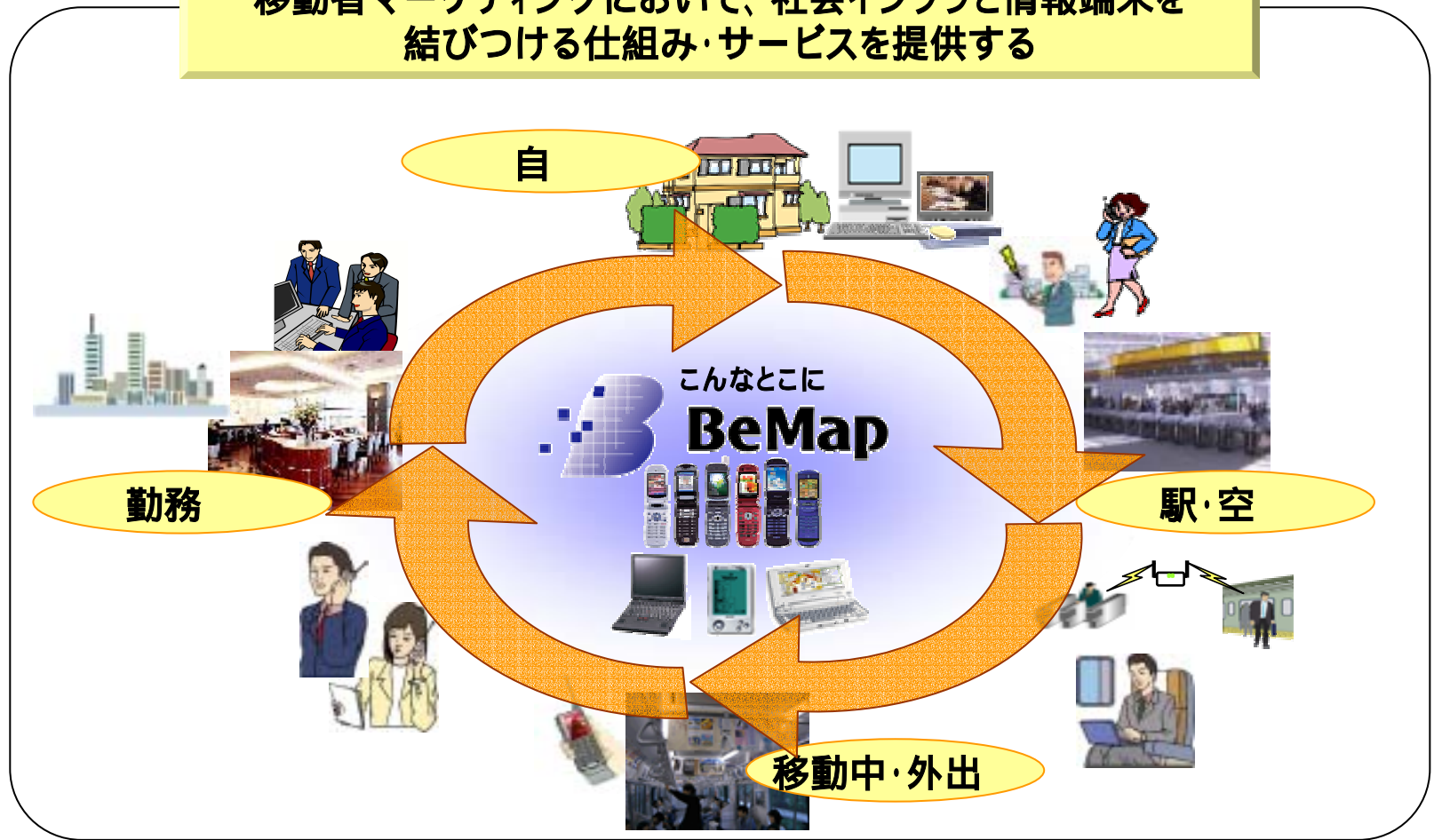
多種多様なモバイル端末へのコンテンツサプライを可能にする
ソフトとサービスの提供

Best Mobile Application Producer



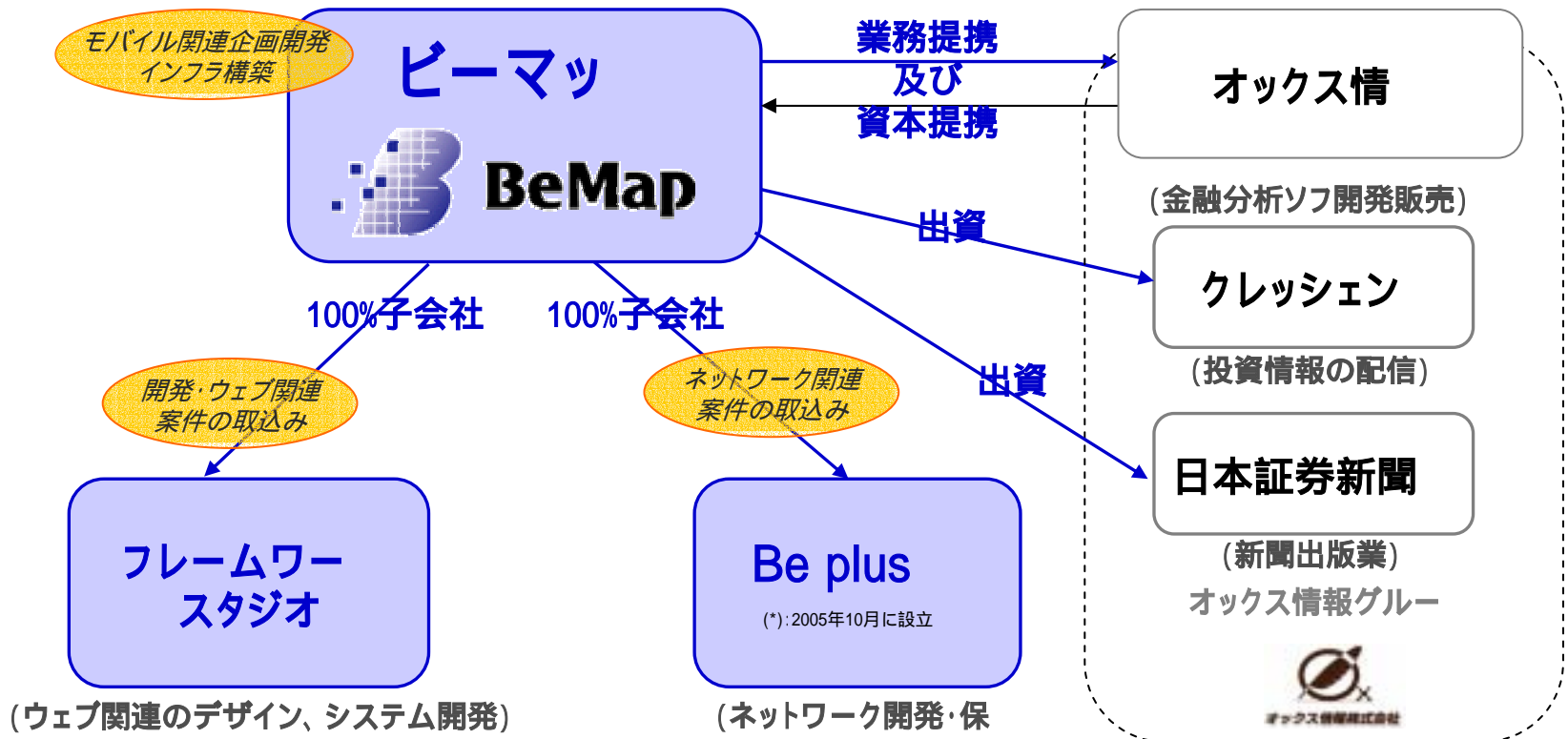
ビーマップの事業ドメイン・ビジネス機会

移動者マーケティングにおいて、社会インフラと情報端末を
結びつける仕組み・サービスを提供する



ビジネスネットワークの拡大によるビーマップの進化

- 子会社設立、オックス情報との業務提携などを通して、ビーマップのサービス提供機能を強化。
- さらに、顧客基盤を共有しながら、新しいビジネスを創造する。



事業分野の構成

- サービス内容に対応し、事業構成を「モバイル分野」「ソリューション分野」に再編成。
- グループ力を活かし、一気通貫のサービス提供、および新規事業の企画提案を展開。

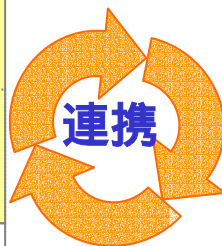


モバイル分野

コンテンツ配信、インフラ構築などを通して、携帯電話・情報端末などを活用したモバイルマーケティングの仕組みを提供する

【主要案件】

- 交通関連「JRトラベルナビゲータ」
- 位置情報「b-Walker」
- 無線LAN配信インフラ「AirCompass」
- 新規事業「通勤テレビ」
- その他新規事業の企画提案



ソリューション分野

インターネットなど情報通信における新たな用途・新機能のこれまでにない活用法をソリューションとして企画・ソフト開発しサービスに落とし込む

【主要案件】

- 画像閲覧サービス「モニタリング倶楽部」
- 企業向けWebシステムの企画・開発・運用
- 携帯サイト等の企画・開発・運用・コンサルティング

ビーマップの主要クライアント・パートナー

- クライアント・ビジネスパートナーと構築したネットワークで、新たなユーザーニーズ・用途に対応

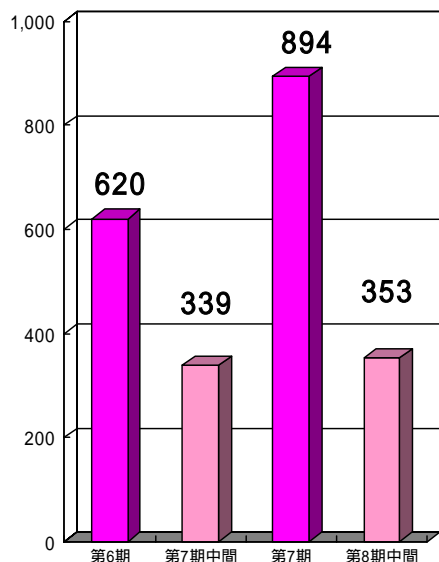


2006年3月期中間期の業績

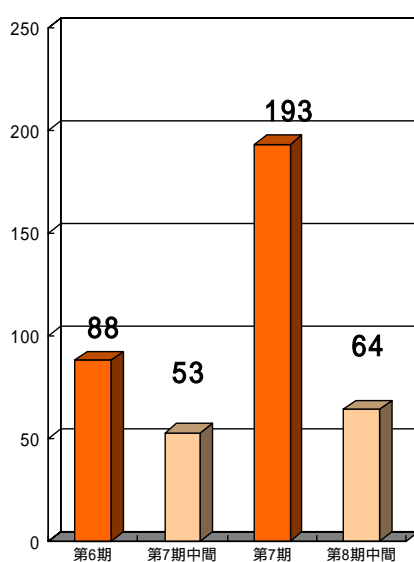
売上高および損益の推移（単独）

- 売上高は前年同期比8.3%増。前年から続く売上の下半期偏重傾向に、拍車がかかる展開。
- M&A、第三者割当増資、業務提携に関わる資本提携などで、販管費が一時的に増加。

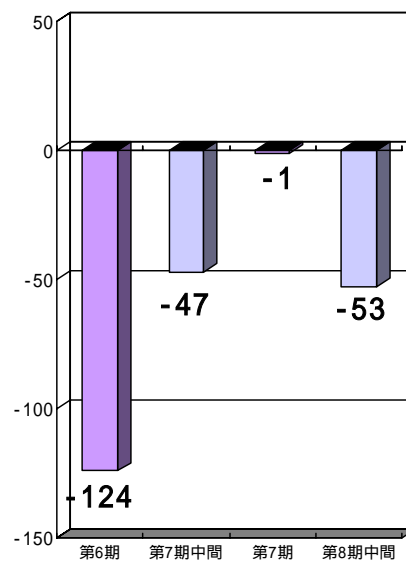
売上



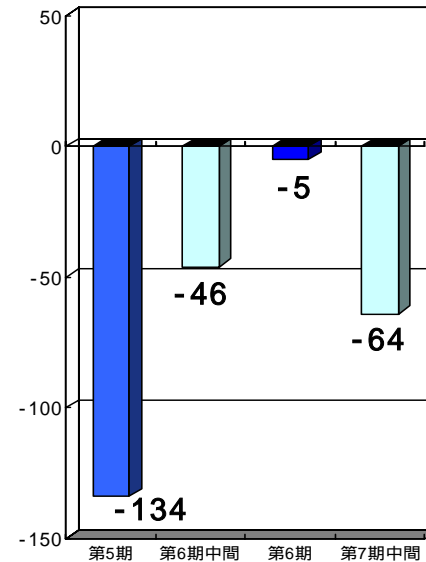
売上高総利



営業利



経常利



(単位:百万円)

業績・収益性の分析 (単独)

- 売上高は当初予算(350百万円)達成し、**前期比104.1%**。
- 売上高総利益(粗利)は**前期比120.8%を達成**。売上高総利益率も**15.7% 18.2%へと改善**。
- M&A、第三者割当増資、業務提携に関わる資本提携などで、販管費が一時的に増加。

中間期業績比較	第7期中間期 (2004年9月)	第8期中間期 (2005年9月)	前年同期比	
			金額	百分率
売上高	339	353	14	4.1%
売上高総利益	53	64	11	20.8%
売上高総利益率	15.7%	18.2%	-	-
販売管理費	101	118	17	16.8%
販売管理費比率	29.8%	33.4%	-	-
営業利益	47	53	6	12.8%
営業利益率	-14.1%	-15.2%	-	-
経常利益	46	64	18	39.1%
経常利益率	-13.6%	-18.1%	-	-
当期(中間)純利益	49	74	25	51.0%
当期純利益率	-14.5%	-21.2%	-	-

(単位: 百万円)

・モニタリング倶楽部の**売上増**が売上・利益に貢献。

・前中間期に比べ、**売上高総利益率が改善**。これは、モニタリング倶楽部の利益率向上と開発の効率化による効果。

・M&A、第三者割当増資、業務提携に伴う資本提携などが、一時的要因として発生。

・営業外で新株発行・社債発行の償却費、持分法投資損失が発生。

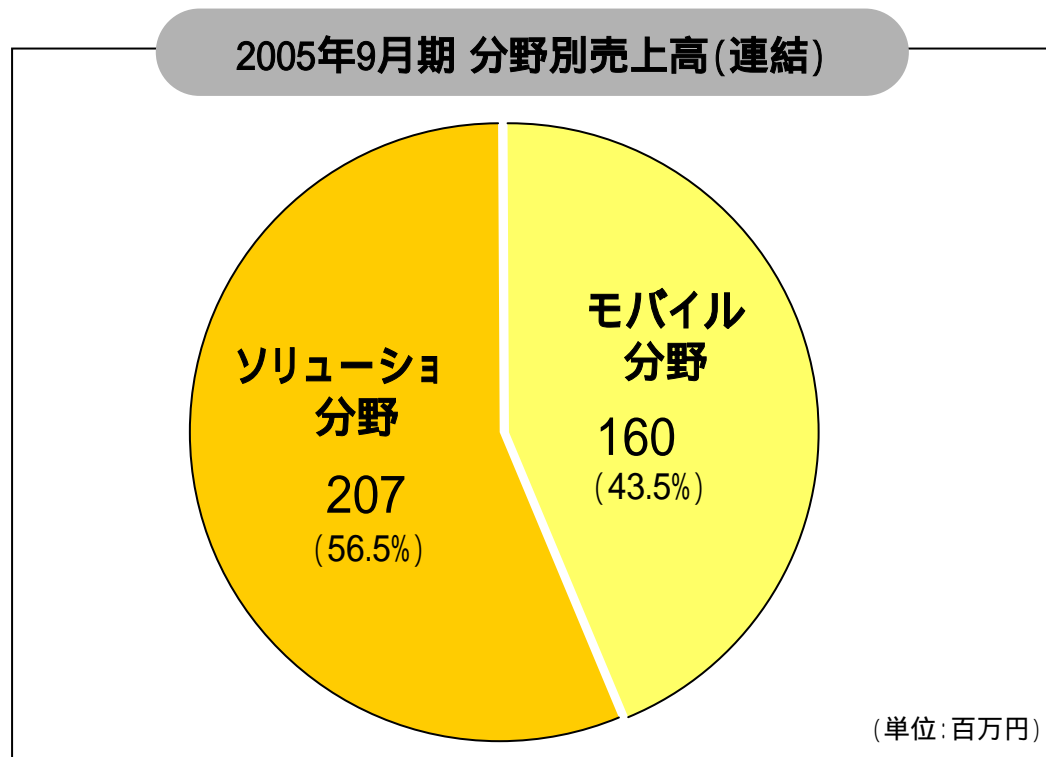
連結の業績・収益性の分析

中間期業績	第8期中間期 (2005年9月)
売上高	367
売上高総利益	68
売上高総利益率	18.5%
販売管理費	132
販売管理費比率	36.0%
営業損益	-64
営業損益率	-17.5%
経常損益	-76
経常損益率	-22.0%
当期(中間)純損益	-86
当期純損益率	-25.0%

(単位:百万円)

分野別の売上構成（連結）

- モニタリング倶楽部の売上増加により、ソリューション分野が56.5%を占める。
- モバイル分野は、JRトラベルナビゲータ、無線LAN事業が着実な売上を上げる。

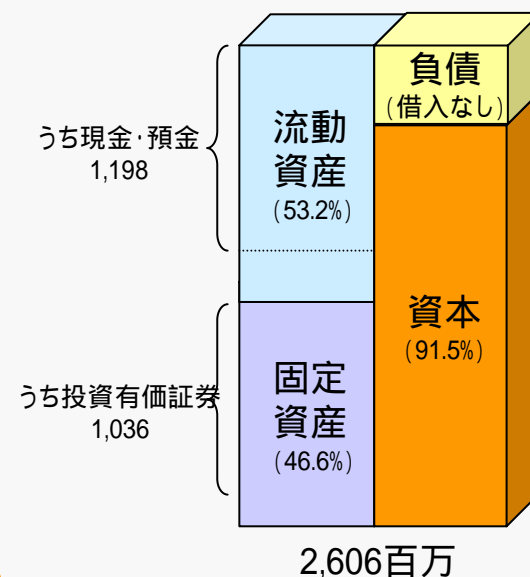


バランスシート状況

- 増資による資金調達により資産合計2,606百万円。うち投資有価証券が1,036百万円で、これは、業務提携に関わる資本提携などによるもの。
- 借入金はなく、無借金経営を継続。自己資本比率91.5%。

	第7期中間期 (2004年9月・単体)	第7期 (2005年3月・単体)	第8期中間期 (2005年9月・連結)
資産合計	1,220	1,373	2,606
うち現金・預金	768	721	1,198
流動比率(%)	79.2%	81.7%	53.2%
固定資産	239	241	1,214
負債合計	214	282	214
うち流動負債	210	277	221
資本合計	1,005	1,090	2,385
自己資本比率(%)	82.4%	79.4%	91.5%

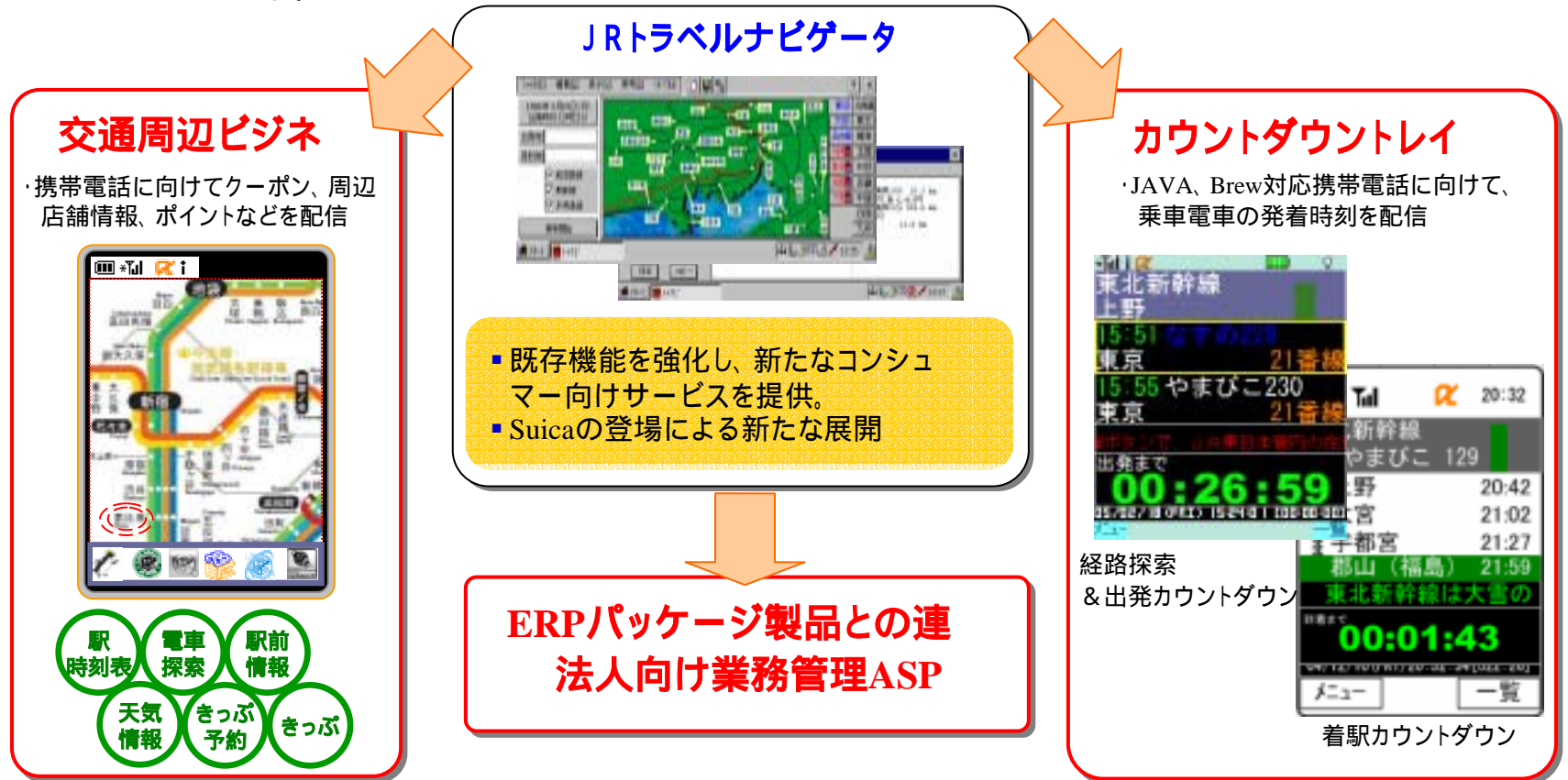
2005年9月末バランスシート



今後の事業戦略・取り組み

モバイル分野 JRトラベルナビゲータ

- 最新の時刻表コンテンツ提供のため、運用系のシステム改善・システム強化を実施。
- 他社業務統合システム(ERP)パッケージとの連携に向け、業務管理ASPの企画開発と受注活動を展開中。



モバイル分野・位置情報 ナビゲーションシステムb-Walker

- ナビゲーションシステムをPDAメーカー、通信事業者に提供。
- 事業者向けにSFA/FFAパッケージツールとして販売。



ナビゲーション

NTT - DoCoMo、日本HP、MiTACなどの大手PDAサプライヤーにライセンス提供。

通信事業

個人向けナビゲーションソフトとしてバンドル提供。

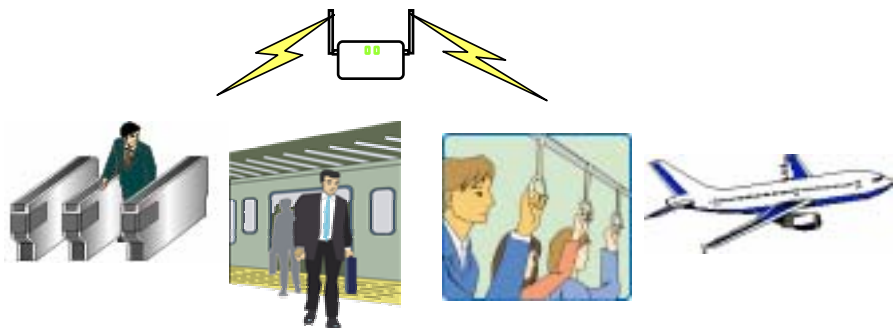
SFA/FFA ツール:

SFA/FFAツールとして、事業会社へ提供。
務パッケージとして横展開。

今期の注

モバイル分野 AirCompass

- 首都圏、関西圏等人口集中地域の通勤・通学手段としての鉄道主要駅で、コンテンツ配信を行う。
- NTT系無線LANサービスを統合するNTTビジネスプラットフォームと連携し、共同でエリア拡大。



無線スポットは駅周辺から航空機・列車内

NTTグループの無線LANサービスは、
NTT-BPに統合して展開

無線配信のデファクトを目指

【新聞・ニュース配

ニュース速報をチェックしたり
複数社の新聞を購入するなど、幅広い
情報収集が可能。文字だけでなく、
ニュース映像付きで見られる。



【小説・雑誌・コミック

縦書きの小説を挿絵や写真つきで
楽しんだり、有名紙・雑誌・コミックが
読める。



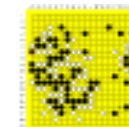
【音楽配信】

カラオケ、音楽試聴などの音楽も
楽しめるからPDAをウォークマン代わり
としても使える。



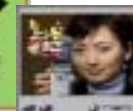
【ゲーム・占

ゲームや、占いなど、ちょっとした
時間に、携帯ゲーム機としても楽しめる
コンテンツ。



【映像配信】

映画、ドラマ予告編などの
映像を好きな時に楽しめる。

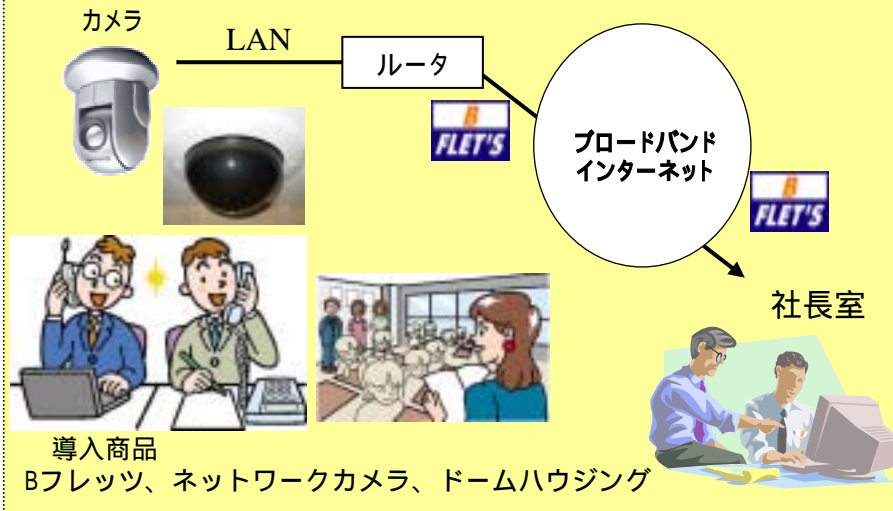


ソリューション分野 モニタリング倶楽部

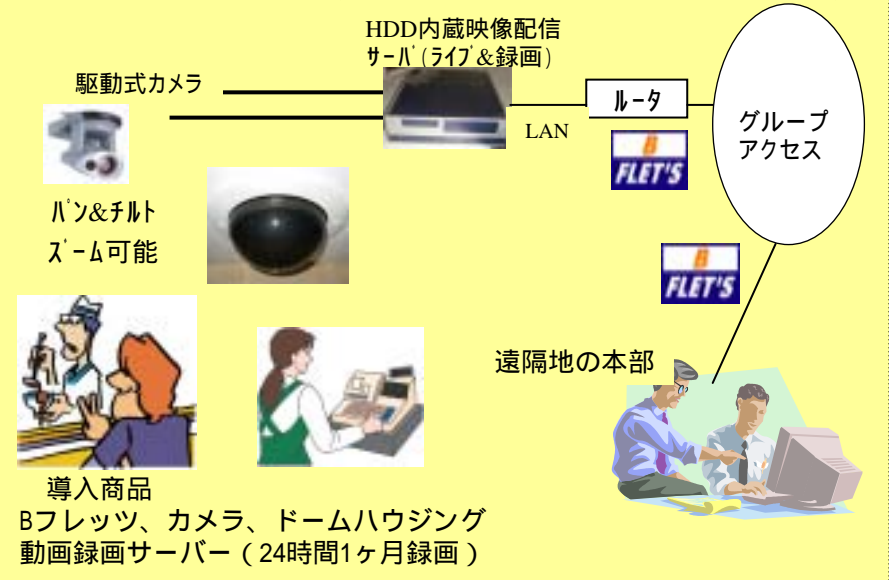
- 事業者向けブロードバンド遠隔監視システムとして、直接営業 + NTT東日本への販売委託。
- 大手企業約1,000箇所に導入実績(前期約600箇所、今期上半期約400箇所)を作る。
- ASP機能の提供でも着実な成果を上げる。

〔導入事例〕

教室45拠点と職員室5箇所の天井にカメラを設置し、社長室から授業の様子と職員の就業状況を見る。



店舗の天井にカメラを設置し、店内の様子を監視・動画記録するサービス。



ソリューション分野 企画開発案件

- 当社が蓄積した顧客基盤、企画ベースの開発力、システムの安定運用の実績などを基に、各種開発案件を受託し、システム・サイトのコンサルティング・企画構築・保守運用を受託。
- 更に、フレームワークスタジオ・Be plusと連動して、新サービスの企画提案も展開中。

【ソリューション分野の企画開発案

当社の顧客基

企画ベースの開発

安定運用の実

【携帯電話サイトのコンサルティング】

・携帯電話サイトのコンサルティング・開発・運用

【企業のWebサイトの企画開発】

・ポータル系サイトの企画・開発
・企業のWebサービスの企画開発

【キャリア向け企画開発】

・キャリア向けにシステム開発の企画提案・開発・運用

【自治体などのサイト構築・運営】

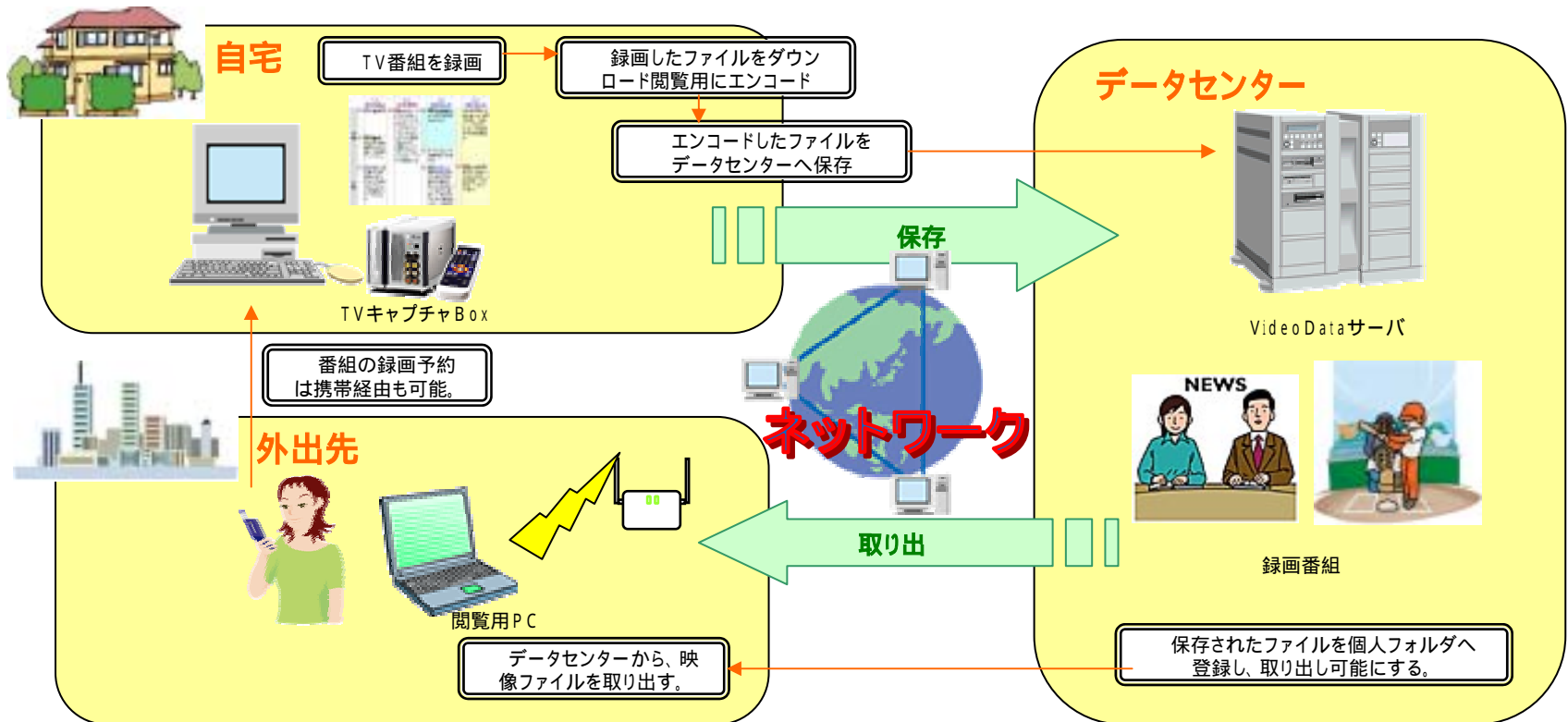
・地域活性化のための自治体系サイトの受託

【保守・運用】

通勤テレビ(標準機能)

いつでもどこでも…高画質TV番組を!

- 録画したテレビ番組を、サーバー経由で携帯電話等にダウンロードし、閲覧可能にするサービス。
- 当社が実用新案取得済み、特許申請中。2006年春にサービス開始予定。



フレームワークスタジオ

- 2001年に設立、Webサイトの構築、デジタルコンテンツの企画・開発などを手がける。
- 2005年7月に、ビーマップの100%子会社となる。



【フレームワークスタジオの代表的な制作実績】

フジテレビ:「プログタイプ」 番組オフィシャルサイト

フジテレビバラエティ番組
「プログタイプ」オフィシャルサイト。
週更新の迅速化・利便性を考慮し、
Flash+ XML 利用の設計にて構築。



(株)Jストリーム: PIPコンテンツ制作実績

PiP(Person in Presentation)を利用し、
年賀状コンテンツ作成。
FCSとFlashの同期パートFlashのみの
パートを細かく展開し、説明コンテンツ
としてのFlash技術の利便性を追求。



BBB(BSD BIKE BUFFET): バイク検索ポータルサイト

日本最大の2輪オークション会社が運営
する、中古バイク情報サイト。
DBのシステムリプレース、過去ページを
生かしたリデザイン、共通ヘッダ&フッタ
制御ツール、などの、設計～デザイン～開発。



サンシャイン劇場: オフィシャルサイト制作

サンシャイン劇場オフィシャルサイトの
リニューアル。
上演情報をトップページでビジュアルで
効率よく見せるために、Flash+XML利用
の設計にて構築。



2006年3月期通期の業績予想

下半期の主要取り組み

既存事業

モバイル事業

既存のbtoBtoCモデルをパッケージングし、ASPとして横展開を狙っていく。

ソリューション事業

サービスラインアップの充実、グループ会社との連動による提案力の強化。

新規事業

通勤TVを始めとする案件の事業化を急ぐ。

2006年3月期業績予想(単独・連結)

- 中核事業での売上達成と新事業への取組みで、連結売上1,190百万を予想。
- 既存事業 + 開発案件を中心に収益を上げ、連結での営業利益38百万円、経常利益28百万円、当期純利益16百万円を予想。

(単位: 百万円)

	第7期通期実績 (2005年3月) 単独	第8期通期予想 (2006年3月) 単独	第8期通期予想 (2006年3月) 連結
売上高	894	1,100	1,190
営業利益	1	53	38
営業利益率	-0.1%	4.8%	3.2%
経常利益	5	43	28
経常利益率	-0.6%	3.9%	2.4%
当期純利益	0	32	16
純利益率	0.0%	2.9%	1.3%

売上予想:

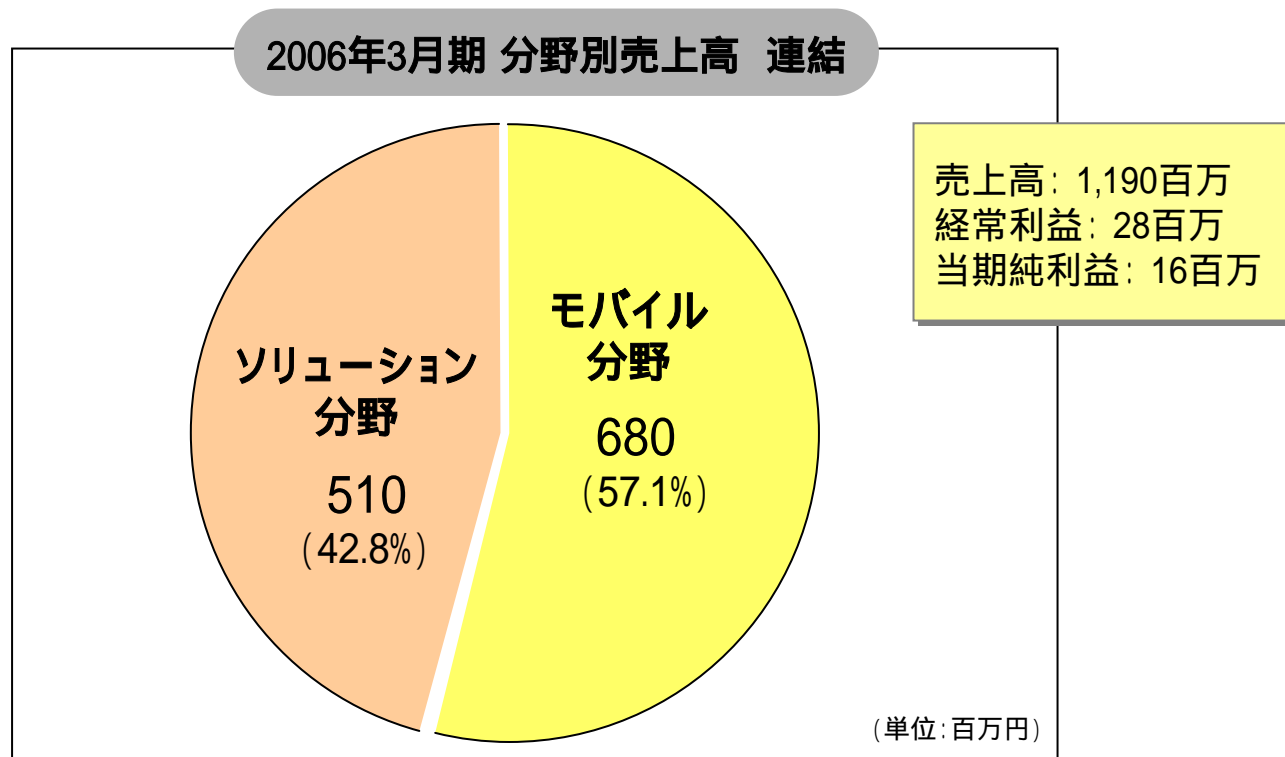
- ✓ 売上下期偏重の傾向
- ✓ 位置情報業務パッケージの拡大
- ✓ モニタリング倶楽部の堅調な増加
- ✓ ASPなどによるサービス拡大
- ✓ 開発費用の内部取り込み

収益:

- ✓ 新規事業、開発案件などで安定した収益を狙う。

2006年3月期売上構成予想(連結)

- btoBtoC案件とbtoB案件の両面展開。
- 既存事業 + 新規案件で、安定した売上構成を目指す。

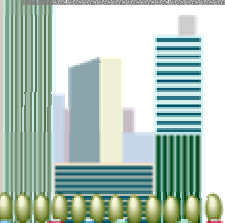


最後に

～ 今後のビーマップが目指すもの～

物理的な動線を意識した事業戦略

勤務先



移動時の無駄時間が有効な時間へ!



経路探索、携帯中吊り、無線LAN、送客サービス、通勤TV、コンテンツ配信



欲しかった情報を瞬時に提供!



位置情報、画像配信技術、ナビゲーション、生活情報

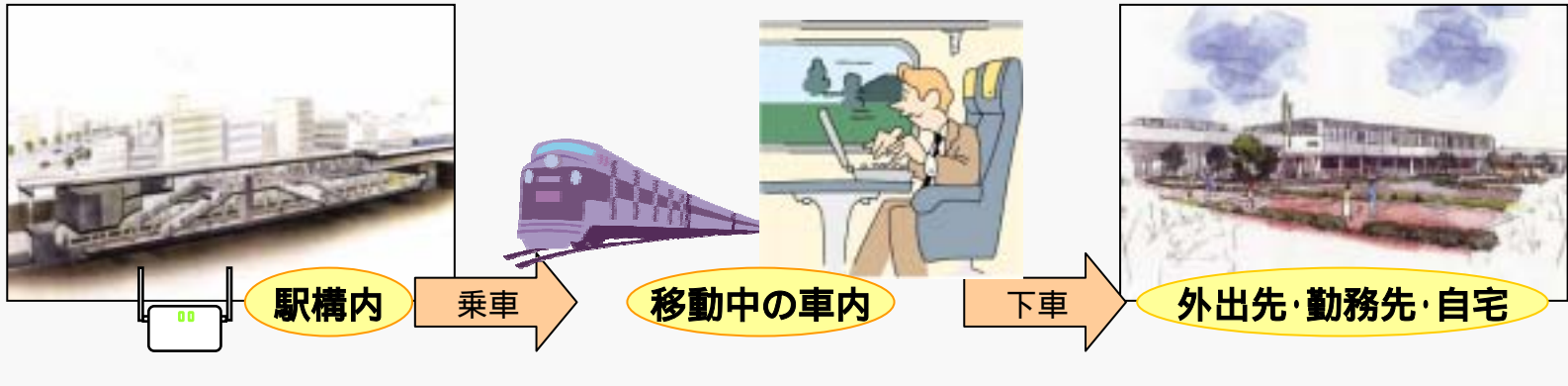


自宅

無線LANの将来とビジネスチャンス

駅～列車内のシームレスエリア展開

各LANのエリアで、端末の設定を変えることなくそのまま通信可能



無線技術の進化、携帯電話との融合

大きなチャンスをしっかり掴み、
無線LANを中心とする当社のビジネスに取り組んでまいります。

ご質問・お問い合わせ

本日はありがとうございました。

株式会社ビーマップ

〒112-0001

東京都文京区白山5 - 1 - 3 東京富山会館ビル7F

社長室 IR担当（上野、大谷）

E-mail: ir@bemap.co.jp

この資料に掲載されている見通し、その他今後の予測・戦略などに関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しの上に全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えなされるようお願い致します。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送などを行わないようお願い致します。